

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲院院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

前立腺癌密封小線源治療に併用したハイドロゲルスペースー(SpaceOAR)の留置形態に影響する因子の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2018年3月1日から2023年2月28日に昭和大学江東豊洲病院泌尿器科で前立腺癌密封小線源治療施行時にハイドロゲルスペースー留置を併用した患者さんです。
2. 研究目的・方法 ハイドロゲルスペースー(SpaceOAR)は前立腺癌放射線治療時に直腸への放射線量を低減し、直腸への影響を減少させるために使用されます。しかし、不適切な留置状態となることもしばしばあり、そのような場合には十分な直腸への放射線量の低減効果が得られない結果となり、また予期せぬ部位への誤った留置のリスクもあります。そこで、ハイドロゲルスペースー施行後のMRI画像でハイドロゲルスペースーの留置状態を評価し、留置形態と患者さんの状態、治療状況との関連を検討します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年7月31日までです。
3. 研究に用いる試料・情報の種類 電子カルテに記録された、手術時の年齢、BMI、臨床病期(直腸診、CTなどの画像検査で評価できる前立腺癌の進行状況)、PSA値(血液検査による前立腺腫瘍マーカー)、Gleasonスコア(前立腺生検で採取した組織の病理学的評価)とMRI画像です。
5. 外部への試料・情報の提供 該当致しません。
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学江東豊洲病院 森田 将

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 泌尿器科 氏名：西村 公太

住所：東京都江東区豊洲5丁目1-38 電話番号：03-6204-6910